



# CO2削減への取り組み

自然の恵みである食を扱う企業グループとして、事業活動のあらゆる場面でCO2削減に取り組んでいます。

**P** 気候変動の影響を大きく受ける“食”に係わる企業として、サプライチェーン全体、さらにはお客様や従業員の皆さまの活動に係わるCO2排出量の削減に取り組んでいます。

※目標についてはWEB参照

**D** 食品工場や物流センターにおける省エネ活動、共同配送やモーダルシフトなどの物流効率化、CO2削減につながる商品の提供、ハイブリッド車の導入、グリーン電力の活用などに取り組んでいます。

**C** 洞爺湖サミットで2050年にはCO2排出量を世界全体で半減させるという目標が掲げられ、改正省エネ法の施行など企業活動に対する要求が強まる中、現状の活動の継続だけではこれらへの対応が難しくなっています。

**A** 今後策定される日本の2020年に向けた中期目標を踏まえ、事業会社ごとに取り組みを継続・強化していきます。また、従業員一人ひとりの意識向上や家庭での省エネ活動の取り組みも推進していきます。

**Check**  
評価

## 食品工場におけるCO2削減

ニチレイフーズでは1999年以来、国内の各工場で順次ISO14001を取得し、統合的なマネジメントシステムを構築して、さまざまな環境課題に取り組んできました。

地球温暖化防止については、

1. できるだけ使わない(省エネ)
  2. 再利用する(排熱利用・廃食油利用)
  3. 自然の力(自然エネルギー・緑化)
- の3点を柱に挙げています。

製品1tあたりのCO2排出量(原単位)を指標として環境負荷の把握、目標の設定を行い、新しい技術も積極的に導入しながら各種施策を推進しています。

今後は、従来の食品工場からの直接的

な温暖化ガスの排出削減活動に加え、商品のライフサイクル全般にわたる視点に立ち、原料調達から消費にいたるまでの全工程におけるCO2排出削減を目指し、取り組みの幅を広げていきます。

### 1. できるだけ使わない(省エネ)

食品工場では、まずは生産工程におけるエネルギーを「できるだけ使わない」ことを目指し、生産時間に合わせた設備の運転管理や、エネルギーロスを発生させないメンテナンスを実施するなど、省エネに取り組んでいます。

一方で、安全・安心な商品を生産するためには、加熱や冷凍工程での徹底した温度管理や、検査設備の充実が欠かせません。こうした必要不可欠なエネルギー消費をできるだけ抑えるため、高効率設備への更新や、LED照明など新技術を積

極的に取り入れています。  
また、食品工場だけでなく、事務所の昼休み消灯、営業車のハイブリッド車への切り替えなど、オフィスでの省エネにも努めています。



船橋工場LED照明に照らされたNマーク

### 2. 再利用する(排熱利用・廃食油利用)

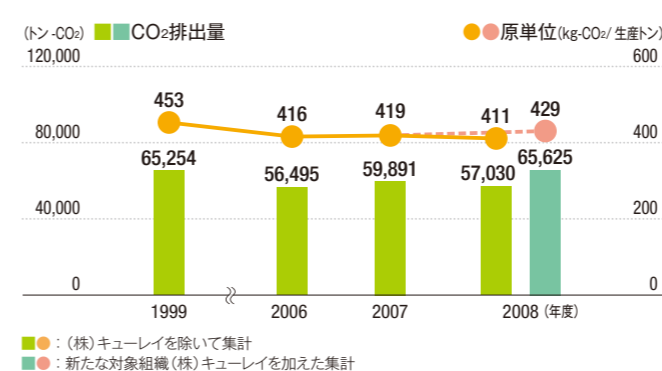
食品工場では「できるだけ熱を逃がさない」ために、冷蔵庫や温水配管に保温・防熱を施しています。それでも発生する排熱については、エネルギーとして積極的に再利用しています。

例えば、「蒸し」工程に使われるボイラーの燃焼排気に、エコマイザーという熱回収装置を取り付けることによって、供給水を予備加熱することができます。



エコマイザー

### 食品工場のCO2排出量



また、フライ商品の「揚げ」工程で使用された植物油の廃油を燃料として再利用することで、化石燃料の削減を図ることができました。

このシステムは、現在、(株)ニチレイフーズ船橋工場ならびに(株)中冷で稼働しており、CO2排出削減効果は、2工場合計で約660トンの見込みです。



廃食用油を処理し燃料を混合する装置

### 3. 自然の力(自然エネルギー・緑化)

ニチレイフーズで使用しているエネルギーは電力が約60%、重油などの化石燃

料が約40%ですが、自然エネルギーの利用をさまざまな形でを行っています。

(株)ニチレイフーズ船橋工場・白石工場・長崎工場では、給気設備に気化熱を利用した冷却装置を設置。船橋工場と(株)ニチレイアイスでは、太陽光発電設備を導入しています。

また、自然の緑の力を保つために、緑化活動を推進しています。各事業所で緑地の整備に取り組むほか、近隣の自然保護活動にも積極的に参加しています。



川の清掃の様子

## TOPICS 船橋工場が「食品産業CO2削減大賞」農林水産省総合食料局長賞受賞

2009年3月、(株)ニチレイフーズ船橋工場が、「食品産業CO2削減大賞」において農林水産省総合食料局長賞を受賞しました。食品産業CO2削減大賞は、農林水産省の補助事業として(株)日本総合研究所が主催し、食品企業での温室効果ガス削減の取り組みを広く募集し、削減に努力している企業を表彰するものです。今回の受賞では、廃棄物バイオマスである廃食油をボイラー燃料として活用するなど、船橋工場におけるCO2排出削減の取り組みが高く評価されました。



表彰式の様子

(株)ニチレイフーズ 船橋工場 技術グループ グループリーダー 加藤 達志

voice

**環** 境目標であるCO2削減を目指して、2008年度は計画的に省エネ設備・自然エネルギー設備の導入を実施しました。

2007年度設置した廃食油燃料化設備とあわせ、大きな効果をあげました。これからも日本を代表する冷凍食品工場として、お客様にも従業員にも地球にも喜ばれる工場づくりを目指していきたいと思っています。

